



記

皆様こんにちは。お元気のことと存じます。私は1か月の3/4が予定が並んでいて、楽しいこと半分、疲れました。おまけに新しいパソコンと、固定電話が変になりノイローゼ寸前であります。お知らせが遅くなりましたのは、そのせいもありますが、ごめんなさい。

今回はチャイコフスキー作曲、プーシキン原作のオネーギンに致しましょう。ロシア語で歌う歌手が少なく、以前は上演が少なかったのですが、近年はスラブ系の素晴らしい歌手が増え、世界中で活躍して目を見張ります。カウフマン、ネトレプコ、他ピョートル・ベチャワなど声も姿も美しく、実力満点の魅力にロシア系は苦手だった私も完全に参っております。今回はオネーギンにマリウシュ・クヴィチェンコ、タチャーナにアンナ・ネトレプコ、レンスキーにピョートル・ベチャワ。メトロポリタン歌劇場2013年です。名前を覚えて頂きたくてわざと書きました。では青戸。

以上

